

富山県支部

氷見市に学ぶ地域産業振興策

■「氷見市に学ぶ地域産業振興策」の調査研究概要■

氷見市は、県内で最も活発に産業振興に取り組まれているが、そのメカニズムや成果を学び、今後の診断指導の参考に資するもの。

■各種統計資料からみた氷見市の現況■

人口の伸び率は減少し、昼夜間人口比も低く、観光入込客数は増加しているものの、伸び率は県平均を下回っていることから、氷見市におけるさまざまな活動が充分には成果として表れていないというのが実態と見受けられます。

■氷見市の産業振興策の要因■

- ①豊富な地域資源の活用
- ②地域を活性化したいという熱意
- ③協働の取り組みと市、商工会議所等の強力な支援
- ④チャレンジし工夫し続けるキーマンたち

■地域マネジメント活動■

氷見市の地域産業振興策は、基本的には商工会議所、観光協会、農協、漁協などの地域形成主体が単独あるいは協働の実行委員会として、氷見の活性化のためにさまざまな活動をされており、それを市も支援・サポートする形です。

特にいずれかの主体が先導的に引っ張っていくというものでなく、全体的に連携、調整を行う、機能を特にどこかの主体が専権的に行うというものではなく、必要に応じてキーマンなど主要なメンバーが参加する実行委員会などで必要に応じて協議され、調整が図られており、これが現在のところ大変うまくいっているのが現状です。

■今後のより一層の発展に向けて■

今後のより一層厳しい状況に対応し、明確な地域経営ビジョンに基づいて、市内の地域形成主体が目標実現に向けて連携・調整して活動していくことがより効果的に地域活性化・発展に繋がると考えられます。